

長尾交流会

毎年恒例の行事ですが、私には初めての経験でした。
自分の子がサッカーをしている親たちの集まりです、

仕事でもなく御近所でもなく、同窓会でもない大人の集まりでした。 おまけに子供が一宿一飯のお世話になると言う

子供達は会って数秒で友達になります しかし、大人はそうは行きません、そこでお酒の力が必要になるので
お酒のパワーは絶大で、ある瞬間からまるで何十年も前から知り合いのような関係になっていきます

翌朝、微かに残った記憶を思い起こして罪悪感に満たされます
しかも、"昨夜はすごかったですよ"との言葉に穴があったら、、、 やっちゃいました！な心境です

2年後、また長尾行事にて再会
今度は初対面ではありません。 ご近所でも無く、仕事でも無く、恥ずかしい歴史だけを持った大人の集まりです
お酒におぼれていく大人たち、、理性の壁はもろくも崩れていく、、、

そしてお別れ、、
子供達はすっかり仲良くなって"あだ名"で呼び合うように、
大人達は顔を合わせると、杓子定規な挨拶を交わすも、記憶のの半分以上は昨夜の失態を思い出し笑みがこぼれる

また会いましょう！ 絶対に！



いったい いくらのお酒を消費したのだろうか……？